

第21回 成田空港地区貨物施設見学会 (2025年度)開催

JAFANA-BIAC 共同研究会では、10月29日、「第21回成田空港地区貨物施設見学会（2025年度）」を開催しました。同研究会は、毎年、荷主企業を対象に、航空貨物の実際の流れをご覧いただき、適切な梱包の重要性についてご理解いただくことを目的とし、見学会を開催しております。今

年度は、19名が参加し、JAL カーゴサービスの上屋と日本航空のB767F（貨物専用機）を見学した後、成田国際空港株式会社の貨物管理ビルにて、同社よりご挨拶いただきました。その後、空港外、野毛平にある日本通運の成田空港第三物流センターにて、貨物の受託から航空機搭載用パレット

（ULD）への組付け作業までの一連の流れについての説明、そして、実際の倉庫施設で現場を見学した後、会議室にてBIACにより「航空貨物の適切な梱包について」と題したプレゼンテーションと動画上映が行われました。見学会の最後に、日本航空の成田オペレーションセンターに移動して最後の質疑応答の時間が設けられ、見学会は終了しました。天候にも恵まれ、見学会全体を通じ、非常に活発な質疑応答がなされました。

（JAFANA-BIAC 共同研究会）



社会悪物品等密輸防止キャンペーン 講演会開催

JAFAでは、1992年、大蔵省関税局(当時)と「密輸防止に関する覚書」を締結し、毎年10月を取組強化月間と定め、「社会悪物品等密輸防止キャンペーン」を実施しております。2019年には、従来の不正薬物や銃器に加え、テロ関連物資と金地金等が追加され、内容も強化されました。キャンペーン期間中は、ポスターやパンフレットの配布を行い、全国各地の空港の税関にご協力いただき講演会等も開催し意識啓発に努めてまいりました。今年度も、財務省関税局・東京税関の協力により10月22日、東京税関本関の会議室をお借りし、東京税関調査部より「社会悪物品の密輸事例等」、「経済安保関連」について講演いただき、麻薬探知犬によるデモンストレーションを見学しました。合計35名の皆さんに会場にて講演を聴講いただきました。6月までの統計によれば、東京税関管内では、覚醒剤の摘発件数・押収量は減少しているものの、その他の薬物が増加しており、形態別摘発件数では、航空機旅客・国際郵便が



共に前年同期比2倍以上に増加している傾向にあります。航空貨物でも引き続き注意が必要であり、今後とも、より一層税関への緊密な協力を心がけていただきたいと思います。

(通関業務・情報合同委員会、
国際業務委員会)

無申告危険物搭載防止キャンペーン

国内業務・教育委員会では、航空輸送の安全確保に向け、一年を通して危険物の適正な取扱いに関する教育・啓発活動に注力しています。その一環として毎年11月と3月の2回を強化月間とし、日本航空とANA Cargoとの共催で、「無申告危険物搭載防止キャンペーン」を開催しています。

キャンペーンのタイトルにもある「無申告危険物」とは、法令により荷主から運送事業者への通知・申告義務が課せられているにもかかわらず、荷主から本来必要となる適正な通知・申告がないまま、一般貨物としてフォワーダーや航空会社へ引き

渡される危険物を指します。この無申告危険物は、本来、危険物に対して実施すべき措置が行われないうまま、航空輸送されることになり、航空機の安全運航への重大な脅威となります。

本キャンペーンでは、このような脅威を排除するための重点取り組みの一つとして、受付窓口、搭載作業現場でのポスター掲示、チラシ配布により、会員各社の従業員並びに荷主に対する啓発活動にも取り組んでいます。なお、ポスターやチラシ等の啓発ツールは、当協会にて通年販売しておりますので、是非、ご活用ください。

(国内業務・教育委員会)

「お客様の貨物に危険物はありませんか？」

安全がOK!! 人も貨物も確認できた

空の安全はあなたの適正な申告に守られています。

空の安全はあなたの適正な申告に守られています。

JAFA 一般社団法人 航空貨物運送協会

航空貨物輸送に関する危険物の規則が 変わりました。

特に30%以下の充電率と3m以下の積み重ねの2つの規則が新たに追加されました。

30% **3m**

1. リチウムイオン電池を機器と一緒して運送する場合、30%以下の充電率である必要があります。(ワット時定格値が2.7Whを超える場合)
※2.7Whを超えない場合およびリチウムイオン電池が機器に組み込まれている場合は除きます。

適用期間 2026年1月1日～(2025年度は推奨)

2. リチウムイオン電池・リチウム金属電池を含む貨物を運送する場合、以下の条件が課せられます。
貨物の表面に可燃性の液体を高さ3mまで積み重ねた重量に24時間耐えうる梱包が必要
(同梱・積み込み両方)

適用期間 2026年1月1日～(適用開始後)

リチウム電池が使用される機器(例)

JAFA 一般社団法人 航空貨物運送協会

航空危険物に関する規則 (追加要件)

IATAの危険物規則書が改定され、同規則書では以下のように定められています。

1. 充電率要件(リチウムイオン電池)

包装基準 966(機器と共に同梱されたリチウムイオン電池)
ワット時定格値が2.7Whを超えるリチウムイオン電池および組電池は、定格容量の30%以下の充電率(state of charge(SOC))で輸送に供さなければなりません。ワット時定格値が2.7Whを超えないリチウムイオン電池または組電池は、定格容量の30%以下の充電率で輸送に供することが望ましい。

包装基準 967(機器に組み込まれたリチウムイオン電池)
機器は以下で輸送されることが望ましい
(a) 組電池または組電池の充電率(state of charge)は定格容量の30%以下である。
または
(b) 表示される電圧値は25%以下である。

2. 3m積み重ね要件(リチウムイオン電池、リチウム金属電池)

包装基準 966(Section 6.0.966) 969(機器と共に同梱されたリチウム金属電池) 970(機器に組み込まれたリチウム金属電池)
組電池または組電池の各包装または完成した包装は、同一の包装物をその試験包装物の上面に高さ3m(試験包装物の高さを含む)まで積み重ねた重量と同等の合計重量を24時間加える圧力に、包装物の内面または組電池に損傷がなくおよび有効性の減少がなく耐えることができるものでなければなりません。

お問い合わせ先

JAFA 一般社団法人 航空貨物運送協会

2025 年秋期国際航空貨物基礎講習会を開催

10月28・29日の間、国際教育委員会主催の秋期国際航空貨物基礎講習会を開催いたしました。(2日間で同じ内容の講義を2回実施)

本年も、春(5月)と秋(10月)の2回に分け開催しており、秋は、2日間で会場参加84名、オンライン参加311名の合計395名の方に受講いただきました。(参考:2025年春期講習会397名参加)

講義は、JAFA各委員会・JAFA講師が担当し、航空保



講習会風景

安、AWB 約款について、保険業務、国際宅配便業務、通関業務および航空危険物取扱いの基礎について学んでいただきました。国際宅配便については、委員会企業のご協力をえて一部映像を使っ



国際教育委員会 中島委員長あいさつ

例年、講習会終了後には、参加された皆様に講義に関するアンケートをお願いしていますが、今回はこれに加えて、フォワーダー業界を選ばれた理由など、リクルートアンケート(無記名)も実施しました。

これらアンケート結果を参考に、来年度の教育カリキュラムに役立ててまいります。(国際教育委員会)

東京都中小企業振興公社主催 「航空貨物の基礎を学ぶ」に講師派遣

8月22・29日の両日、公益財団法人東京都中小企業振興公社が主催しました「航空貨物の基礎を学ぶ-初めての航空貨物の取扱い」講座に当協会より講師を派遣いたしました。

公益財団法人東京都中小企業振興公社は、東京都と連携して、中小企業を対象に幅広いサービスを展開する公的機関で、東京の中小企業の発展と地域産業の振興をサポートしております。

今回、中小企業振興公社が取り組まれている「集合教育を通じての目的別研修」の一つとして、「航空貨物」にテーマを絞った内容で講習会を開催いただき、講習会当日は、製造業、商社、卸業など12社14名の方に受講いただきました。

講習会には、当協会から、通関業務委員会、国際宅配便業務委員会および専任講師の3名の講師に登壇いただき、実務経験のない初めての方でも理解しやすい内容で講義を行いました。

参加者からは、航空貨物運賃の仕組み、航空危険物の取扱い、輸入通関実務や越境ECについてなど積極的に質問もいただきました。

本年11月から12月にかけて第2回の講習会を企画いただいておりますので、当協会から引き続き講師派遣を行い、サポートしていく予定です。

(国際教育委員会)



2025年10月6～10日、 FIATA World Congress 参加報告

10月6日から10日にかけて、FIATA World Congress が、ベトナム、ハノイの国際会議場で開催され、国際交流委員会より1名、JAFA 事務局より1名の合計2名で参加いたしました。

この会議は、全世界のFIATAの加盟団体が一同に会する場であり、協会会員である各国のフレイトフォワーダー協会からのみならず、個人会員である各フォワーダー企業からの参加者を含め、約1,000名のメンバーが集まり、現在と将来にわたる国際物流に関する課題を討議、共有する大きなイベントとなりました。

会議冒頭の「オープニングセレモニー」では、開催国ベトナムのファム・ミン・チン首相が、歓迎スピーチをされるなど、国を挙げての会議となりました。

会議のテーマは、「GREEN & RESILIENT LOGISTICS」であり、さまざまなゲストスピーカーを招いて、パネルディスカッション形式で各会議が実施されました。



オープニング セレモニー

やはり、大きな話題となったのが、トランプ関税の影響であり、各国の物流、通関をはじめ、経済全般にわたるインパクトの大きさについて、懸念と課題が共有されました。

最終日の10日には、FIATAの次の会長を含む役員の改選が行われ、JAFAも投票を行いました。

今回、FIATAの新会長には、シンガポールロジスティクス協会のSim氏が、事務局長には、インド航空貨物協会のTanna氏が選出されました。また、副会長（複数選出）にもインドネシア協会の方が選出され、役員の主要部分をアジアのメンバーが占める形となり、昨今の世界貿易を反映した結果になったかと思います。

今回選出されたアジアの方々とは、以前から、JAFA 交流委員会として、地域会議等の場でやり取りをさせていただいており、今後のJAFAの交流活動にも大きなサポートになるものと期待しています。
(国際交流委員会)



ベトナム ファム ミン チン首相

JAFA セミナー 「トランプ政権の関税政策と米国経済への影響」

本年に入り、米国トランプ政権により順次導入された関税措置や、それに対する各国の対抗措置といった、世界貿易、貨物の輸出入動向や、企業の生産拠点や調達先の配置等に大きな影響を与える動きが発生しました。度重なる関税措置の修正が国際物流動向の先行きをますます不透明なものとしていましたが、政府間協議の結果を受け、7月に入り、日米両政府より、関税交渉の合意について公表され、今回の合意により一定の見通しが示され、これにより

不確実性が低下したことで、貿易取引の活性化や、サプライチェーンの見直しに向けた具体的な動きが期待されます。こうした状況下、JAFA セミナーでは、(独)日本貿易振興機構(JETRO)より調査部米州課リサーチ・マネージャーの甲斐野 裕之様を講師にお招きし、8月22日に「トランプ政権の関税政策と米国経済への影響」と題し、米国関税措置等の変遷や現状、日米合意を受けた企業活動の最新動向や今後の見通しについて、講義いただきました。会場、



オンライン合わせて247名と大変多くの皆様に聴講いただき、関心の高さが感じられました。
(政策委員会)

あなたの 3 コードは？

～ JAFA 活動を支える皆様に、お仕事、経歴、趣味、ペット、故郷の自慢話、お勧めグルメ、
これからの夢、得意のレア語学、今ハマっていること、推しの人、自由に、3点ほど語っていただきます。～



副会長 兼 通関部会長
(株式会社阪急阪神エクスプレス)
谷村 和宏

統一性のある3コードが思い付かず、思い出に残っていることを思い付いたままに紹介させていただきます。

まずはサッカーです。小学校の時に男女混合での校内サッカー大会で優勝したことで自分はサッカーが上手いと思い込んで中学でサッカー部に入りました。3年の総体では神戸市で準優勝することが出来ました。高校ではサッカーをせず勉強に生きようと思っていました。しかし同じ中学出身の先輩からのプッシュがあり、自身の意志の弱さを露呈してサッカー部入部を決めました。練習のやり方も水分補給はなし、また腰に悪そうな腹筋練習な

ど辛いことも多かったのですが、勉強はほぼせずサッカーに明け暮れました。サッカー雑誌には周りの見えないゲームメーカーと書かれましたが、3年間全て全国大会に出場することが出来、満足感のある3年間でした。

次は中近東です。高校で腰を悪くしたこともあり大学ではサッカーをせず、焼肉屋のバイトに明け暮れていました。そのマスターと仕事終わりに豚足を肴にビールを飲んで食事をするのですが、そのマスターの話が刺激になり、大学を1年休学し前半にお金を貯めて後半に中近東を旅行しました。1981年から翌年にかけて行ったのですが、当時はサダト大統領暗殺、イラン革命があり、旅行の時はイラン・イラク戦争、ソ連のアフガン侵攻の最中で、きな臭い時代でした。ただ日本は信頼が厚いのかシリア、イスラエルやイランなどはビザ不要で、また余り危険も感じずに旅行出来ました。シリアのバルミラ遺跡(写真)、ヨルダンのペトラ遺跡、エジプトのピラミッド、イランのペルセポリスなどは記憶に残っています。

最後は米国です。1991年に結婚後すぐに赴任して10年間を米国で過ごしました

が、仕事のことは脇に置いておくと楽しい思い出しかありません。妻と二人の時も、2人の子供が生まれてからも、年に2回は1週間の休暇を取ってアチコチ旅行しました。妻と2人で行ったカナダのロッキー山脈やメキシコのマヤ遺跡、家族でキャンピングカーをレンタルしたイエローストーンなど、またゆっくり行きたいと思っています。特にキャンピングカーはお薦めですので、機会があればお試しください。



国際業務委員会委員長
(商船三井ロジスティクス株式会社)
内田 格

国際業務委員会の委員長と保安委員会の副委員長を務めさせていただいております。各委員・JAFA事務局の皆さまのご支援、ご協力を賜りながら運営しております。

私の3コードは、海上勤務時代・陸上勤務時代・趣味です。

【海上勤務時代】現在は航空貨物業界でお世話になっておりますが、就職後10年間は商船三井で航海士として大海原を駆けまわっておりました。南米航路のセミコン在来船から始まり、VLCC、客船、PCC、運輸省練習船、LNG船、フルコンテナ船と、様々な種類の船に乗船し、数え切れないほどの国や港を巡ってきました。記憶

に残るのは、ブラジル錨泊中に海賊に襲われたり、係船索を巻いていたところボラードが破断して直撃を受けたり、スリランカ上陸中に爆弾テロに巻き込まれたり、マナウスというアマゾン奥地で突然！銃で撃たれたり、まさに九死に一生を得た経験です。自然と「安全」に対する意識も高まり、現業の航空保安業務などにも活かされているのではないかと思います。

【陸上勤務時代】客船時代に会ったパーサーが現在の妻ですが、子供が生まれた段階で、どちらかが陸に上がらないと！ということになりまして、海上勤務時代の命に係わる経験から何の迷いもなく私が陸に上がることにしました。

当時は陸転という制度が無かったので、逆出向という形で商船三井の技術開発環境対策部門→タンカー安全管理→MOL JapanでコンテナM&R→ONE Japan移籍→現職、と主には海上勤務の経験を活かした業務を担ってまいりました。やはり思い出深いのは、ONE Japanへの移籍です。社内文化の違いや邦船3社が、同じ土俵で一から会社を立ち上げて行くという経験は非常に険しいものでした。港湾業者との料金交渉やコンテナ新造、リース契約、インベントリー、基幹システム立ち上げなど、今思えば、我ながら良くやったと褒めてあげたい業務でした。街中でピンクのコンテナを見掛けると今でも誇らし

く思います。

【趣味】九死に一生を得るような経験をする、「残りの人生楽しむしかない！」という思考になってしまったのか、陸に上がったからはエンタメ業界にのめり込むようになりました。松田聖子や中森明菜で育った世代ですので、元々素養があったかもしれませんが、今はエンタメ戦国時代！無名の頃から原石を見出し、会いに行ってみると意外と同世代の方々が多く、結構、昭和世代に支えられている業界なのだと思えます。今ではどんどん派生して、ロックバンド、アニメ、ボカロ、舞台鑑賞やプロレスなど、幅広く楽しんでいます。お財布にやさしくないのが玉に瑕です。



海上勤務時代(ケープタウン入港)

IATA 認定資格試験結果について

2025 年 7 月以降実施しました IATA 認定資格試験（基礎コース・危険物コース）の結果を報告します。



基礎コース (Cargo Introductory Course)

IATA システム不具合により、実績データが取れていません。

危険物資格取得コース (CBTA) - 2025 年 6 ~ 9 月実施分

| 2025 年 6 月 | 受験者数 | 合格者 (pass) | 合格率 | 90 点以上の高得点者 (Distinction) | 高得点での 合格者率 | 不合格者 (failed) |
|---------------|------|---------------|--------|------------------------------|---------------|------------------|
| 7.3 コース イニシャル | 7 | 7 | 100.0% | 6 | 85.7% | 0 |
| 合計 | 7 | 7 | 100.0% | 6 | 85.7% | 0 |

| 2025 年 7 月 | 受験者数 | 合格者 (pass) | 合格率 | 90 点以上の高得点者 (Distinction) | 高得点での 合格者率 | 不合格者 (failed) |
|---------------|------|---------------|--------|------------------------------|---------------|------------------|
| 7.1 コース | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 100.0% | 0 |
| 7.1 コース リカレント | 6 | 6 | 100.0% | 5 | 83.3% | 0 |
| 7.3 コース イニシャル | 9 | 9 | 100.0% | 6 | 66.7% | 0 |
| 7.3 コース リカレント | 11 | 11 | 100.0% | 9 | 81.8% | 0 |
| 7.2 コース | 4 | 4 | 100.0% | 3 | 75.0% | 0 |
| 合計 | 32 | 32 | 100.0% | 25 | 78.1% | 0 |

| 2025 年 8 月 | 受験者数 | 合格者 (pass) | 合格率 | 90% 以上の高得点者 (Distinction) | 高得点での 合格者率 | 不合格者 (failed) |
|---------------|------|---------------|--------|------------------------------|---------------|------------------|
| 7.3 コース イニシャル | 13 | 13 | 100.0% | 9 | 69.2% | 0 |
| 7.3 コース リカレント | 1 | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% | 0 |
| 合計 | 14 | 14 | 100.0% | 10 | 71.4% | 0 |

| 2025 年 9 月 | 受験者数 | 合格者 (pass) | 合格率 | 90% 以上の高得点者 (Distinction) | 高得点での 合格者率 | 不合格者 (failed) |
|---------------|------|---------------|--------|------------------------------|---------------|------------------|
| 7.1 コース | 9 | 9 | 100.0% | 9 | 100.0% | 0 |
| 7.1 リカレント | 4 | 4 | 100.0% | 3 | 75.0% | 0 |
| 7.3 コース イニシャル | 24 | 24 | 100.0% | 22 | 91.7% | 0 |
| 7.3 コース リカレント | 20 | 20 | 100.0% | 18 | 90.0% | 0 |
| 7.2 コース | 7 | 7 | 100.0% | 7 | 100.0% | 0 |
| 合計 | 64 | 64 | 100.0% | 59 | 92.2% | 0 |

委員会等活動報告

| | | | |
|----|--------|-----------------|--|
| 7月 | 1日 | JAFA-BIAC 共同研究会 | 航空危険物ベーシック講習会について、成田空港施設見学会について、他 |
| | 2日 | JAFA-BIAC 共同研究会 | 航空危険物ベーシック講習会開催 |
| | 4日 | 国際交流委員会 | 出張報告 FAPAA 総会 @ マニラ、フィリピン |
| | 7日～9日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.1イニシャル/リカレントコース開催(東京) |
| | 11日 | 保安委員会 | 航空局との打合せ |
| | 14～16日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.3イニシャルコース開催(東京) |
| | 18日 | 広報委員会 | JAFA ニュース135号(夏号)最終編集会議、 定時総会記者会見のレビュー、他 |
| | 22・23日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.3リカレントコース開催(東京) |
| | 24日 | 国内業務・教育委員会 | 羽田空港見学会設定検討、リチウム電池取扱いチラシ検討 |
| | 25日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.2コースオンライン開催、国内危険物講習会4名受講 |
| | 28日 | 空港対策委員会 | NAA との意見交換会 |
| | 30日 | 政策委員会 | JAFA セミナー「物流革新に向けた取組について」の振り返り、 次回テーマ、他 |
| | 31日 | JAFA-BIAC 共同研究会 | 成田空港施設見学会、他 |
| 8月 | 1日 | 広報委員会 | JAFA ニュース135号(夏号)発行 |
| | 5日 | 国際教育委員会 | IATA ディプロマ基礎コース受験方法変更に関する会員への周知につい て |
| | 8日 | 通関業務・情報合同委員会 | 国際基礎講習会、社会悪物品等密輸防止キャンペーン、 貿易スキルアップ講座他 |
| | 18～20日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.3イニシャルコース開催(東京) |
| | 21日 | 国際教育委員会 | IATA ディプロマ基礎コース事前講習会 |
| | 22日 | 政策委員会 | JAFA セミナー「トランプ政権の関税政策と米国経済への影響」開催 |
| | 25日 | 国際業務委員会 | IATA ジャパンによる DG DIGITAL の説明 |
| | 27日 | 国際教育委員会 | IATA ディプロマ基礎コース事前講習会 |
| | 28日 | 国内業務・教育委員会 | 羽田空港見学会の実施決議、リチウム電池取扱いチラシの原稿確定等 |
| 9月 | 29日 | 国際教育委員会 | 東京都中小企業振興公社主催「初めての航空貨物取扱い」講習会講師派遣 |
| | 2日 | 保安委員会 | 航空局との打合せ |
| | 5日 | 国際交流委員会 | 今後の国際会議参加確認 |
| | 9～11日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.1イニシャルコース開催(東京・大阪) |
| | 16～18日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.3イニシャルコース開催(東京・大阪) |
| | 24・25日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.3リカレントコース開催(東京・大阪) |
| | 26日 | 国際教育委員会 | CBTA 7.2コースオンライン開催、国内危険物講習会 |
| | 29日 | 広報委員会 | JAFA ニュース136号(秋号)について、 航空貨物業界リクルーティングアンケートに関する説明他 |
| | 30日 | 空港対策委員会 | 輸入 TDMS について、他 |

Airport Cargo Eye

福岡空港における貨物取扱増への取り組みについて



福岡国際空港株式会社
執行役員 空港営業本部長

安藤 愛介

増設事業に伴い、2018年2月に現在の場所に移転しました。国際貨物上屋は共同上屋方式を用いており、福岡エアーカーゴターミナルが上屋を運営しています。上屋内の保税蔵置場は約1万㎡で、輸出入それぞれの大型冷凍庫や大型冷蔵庫を完備しています。福岡空港にはフレイター(貨物専用便)が就航していないため、国際貨物については豊富な旅客便のベリースペースを活用し、九州の特徴である農産品、半導体等電子部品・素材の輸出が、また、自動車部品、切り花の輸入が多く取り扱われています。

直近の福岡空港の概況については、2024年度国内線1,861万人、国際線850万人と内際ともに過去最高の旅客数を記録しました。国際線についてはソウル、台北、上海、香港、バンコク、シンガポール等アジア各国に22路線が1日あたり70便ほど運航しています。

一方、国際貨物取扱量は2018年度約6.3万トンに対し、2024年度は約3.5万トンとコロナ禍前の約56%にとどまっています。コロナ禍に福岡空港国際線の便数が大幅に減少した影響により他空港の物流ルートが構築され、サプライチェーンが定着してしまったことが一因と考えています。

平素より福岡空港の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当社はコンセッション方式にて2019年4月から福岡空港を運営しています。

福岡空港の貨物地区は国による滑走路

そのような状況の中、2024年度から国際貨物取扱量を増やすための取り組みを行っています。2024年5月には福岡空港初となる福岡空港貨物関係者向けセミナーを福岡エアーカーゴターミナルと共同で開催しました。福岡空港をご利用されているフォワーダーの協力のもと、主に国際貨物で生鮮・食品を取り扱う荷主をお招きし、福岡空港の魅力や優位性を改めて説明したほか、九州農政局による九州産の農産物・食品の輸出促進についての講演をいただき、別セッションでは、国際貨物上屋の見学会を実施しました。

また、海外の方々に九州・福岡の特産である豊富なフルーツ等の生鮮品を知っていただくことが、販路拡大、ひいては将来的に福岡空港の国際貨物取扱量増加に繋がることから、旅客向けに国際線旅客ターミナル制限区域(国際線出発コンコース)内でのフルーツ販売イベントの実施や九州農政局等と九州産いちご試食イベントを開催しました。また、九州いちごの認知度向上および輸出促進を図るべく、海外からインフルエンサーを招聘し、実際にいちご農園を訪問してもらい、情報発信を行っていただきました。

2025年3月には増設滑走路が供用開始し、2025年夏ダイヤから1時間あたりの発着回数が38回から40回へと増加したことで、さらに多くの便が運航されています。当社は豊富な国内路線、国際路線を活かし、より多くの荷主・フォワーダーの方々にご利用いただけるよう、引き続き、国際貨物量増に向けた取り組みを行い、地元九州・福岡の地域経済に貢献してまいります。

